



2018年1月27日(土)

第2次 長久手市子ども読書活動推進計画策定 のための
第1回ワークショップを開催しました！

テーマ「子どもと読書」 家庭や地域でできること



中央図書館AVルームにおいて、第1回ワークショップを開催しました。このワークショップは、第2次長久手市子ども読書活動推進計画策定に向けて、市民の皆さんに子どもの読書について一緒に考えていただくものです。

今回は、図書館職員から図書館の事業紹介と計画策定への流れを聞いた後、3つの班に分かれ、以下のテーマについて考えていただきました。

A班

「家庭」：家庭で本を楽しむ方法を年齢別に考えてみよう

B班

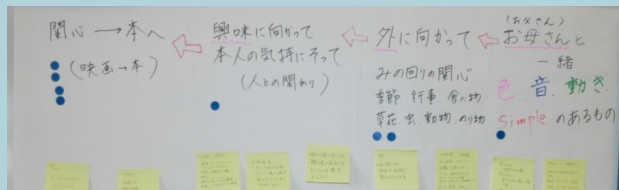
「児童館」：児童館に来る子どもたちが本に親しむためには？

C班

「保育園・幼稚園」：保育園、幼稚園で子どもたちへ本の魅力をつたえるには？



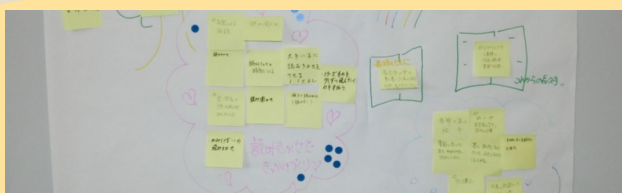
各班でのワークショップの様子



A班

幼児・小・中・高校生と年齢が上がるにつれ、読書への関心が薄れていく傾向があるため、どのような仕掛けをするのが大切。

B班



読み聞かせなどで読書へのきっかけ作りを行うとよい。良書の紹介など。



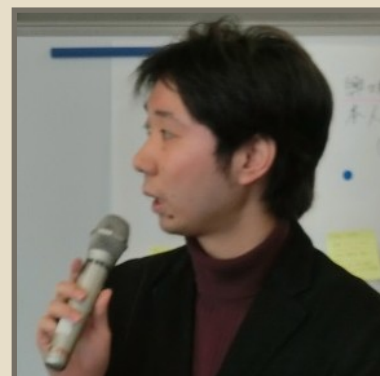
C班



まず、大人が子どもの本を好きになり、本の魅力を伝える環境作りが必要。



幼少期にいか
に読書習慣を
身につけるか
が大切です



ファシリテーター

愛知淑徳大学 人間情報学部

浅石卓真 先生

